

ホソネで

16人の

前葉市長と平成27年度職務経験者採用の15人が、6月25日(木)・30日(火)の2日間、座談会を行いました。「これまでの職務経験や能力を市役所の仕事にどのように生かしているか」をテーマに、「もっと生かすにはどうすればよいか」、「生かせていないとしたらどうする



市長にクエスチョン

職務経験者採用とは？ なぜ今、導入したのか

津市へのU・I・Jターン就職を望む声に応えるため、また多様化する行政ニーズへの対応策の一つとして、民間企業などで経験のある人材を今年度から採用しました。しかし、市長が職務経験者採用を意識したきっかけは、自身が公務員として働いていた30代の頃までさかのぼるそうです。当時、同じ職場に採用された職務経験者の印象をお聞きました。

市長 「職員の中に民間企業経験者が入ると、やっぱり組織の雰囲気が変わるなど思いました。地方自治体も組織力強化のために自由な発想で採用に取り組んでいいんだと思わせる原体験がありました」

PICKUP!

1 想像していた公務員と違った！ すぐ腕営業マンに脱帽

前職で法人営業に携わっていた職員は、企業誘致の部署に配属されました。彼は今まで数々の営業マンを見してきましたが、その経験を上回る人物と市役所で出会ったと言います。

職員 「上司がすごいですね。まず対応が早いということ、どこへでも行くということ。行動力が素晴らしいです。市役所に実際に入ってみて、規制や法律で二の足を踏むような要素があるなか、その辺も全て知識と経験に織り込んでいる。思い描いていた公務員像とは違いました。私も法律や条例などの知識をさらに完璧にして、上司のように活躍したいと思います」

PICKUP!

2 もっともっと増やしたい！ 舞台から見る高齢者の笑顔

30年間舞台照明の仕事をしてきた職員は、文化振興課に配属。市役所の慣例や決まり事に戸惑いつつも、これまでの経験や強みを生かして実現してみたい目標を語ってくれました。

職員 「私、高齢者の方がとても好きなんですけど、本当に笑顔がすてきなんです。舞台の袖からのぞいて客席を見ると、それをもっともっと増やしたいですね」

市長 「たくさん自分たちで事業をすることですね。リージョンプラザなんか土日のたびに使われているけど、もっと平日にもイベントを企画して、高齢者の方に来てもらうようにするとかね」

PICKUP!

3 民間で培ったサービス精神 どうぞ私の接遇を見てください

前職で金融機関に勤めていた職員は税金を扱う部署に配属されました。民間で取り扱っていた法律との違いにとまどったと言いますが、「お客さま」と接する技術である接遇については、これまで培った経験をすぐに生かすことができましたようです。

職員 「民間ではずっと民法に基づいて仕事をしてきたのですが、行政は地方税法に基づいており法律が全く違いました。でも接遇面では、自然と身につけているコミュニケーション力がすごく刺激になっていると先輩から言われうれしかったです。それ以降どうぞ私の接遇を見てくださいという気持ちで対応しています」

